

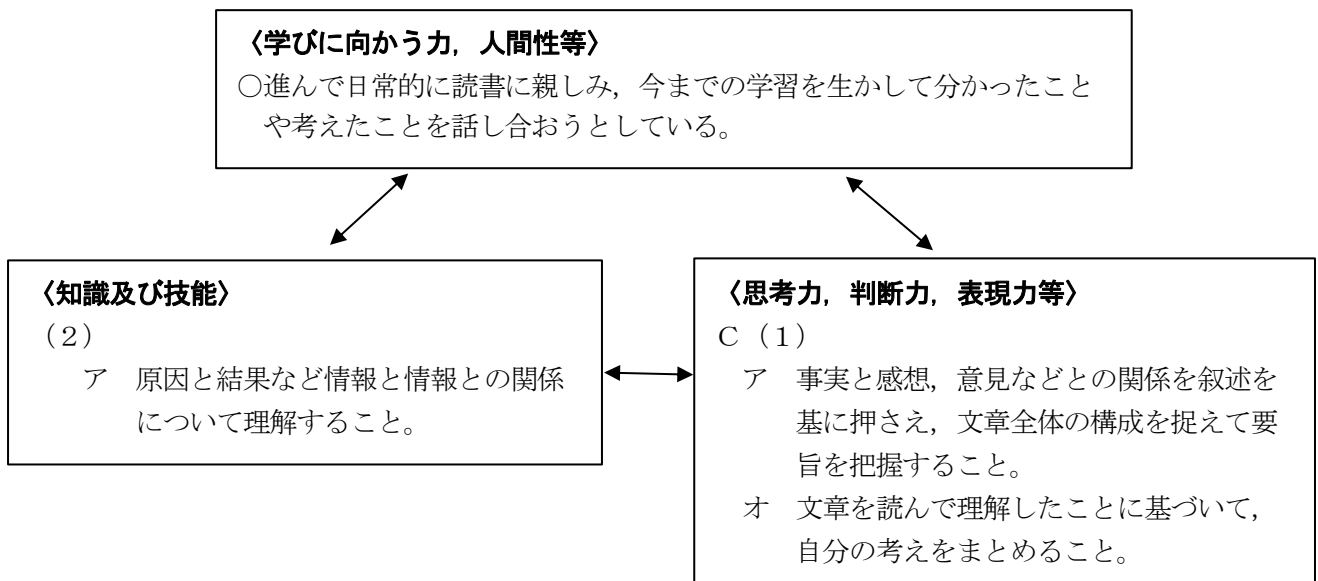
「文章の要旨をとらえ、自分の考えを発表しよう」 ～せらにしの未来をより良くしよう～

日時 令和2年 9月23日(水)
学年 第5学年 男子5名, 女子8名, 計13名

1 単元について

(1) 単元観

本単元で育成を目指す資質・能力, 学習指導要領との関連は次のようになっている。



本単元では, 中学年までに学んできた, 段落相互の関係に着目して文章を読むことに加えて, 文章全体の構成を捉えて要旨を把握することが大きなねらいである。練習教材「見立てる」で学んだ基礎的な内容を, 本教材「言葉の意味が分かること」で生かして読み, さらに文章中に表れる情報と情報の関係を, 「情報 原因と結果」で確認する単元の構造となっている。

(2) 児童観

本学級の児童は, 読書量も多く, 文章を読むことに意欲的な児童が多い。しかし, 文章に書かれていることを上手くまとめられず, 大まかな内容や筆者の考えを理解するまでには至っていない児童が多い。また, 理解力に個人差があり, 話し合いの場における学習の深まりが得られないことがある。さらに, 自分の意見をもつことはできるが, 全体場で伝えることを躊躇している児童が多い。

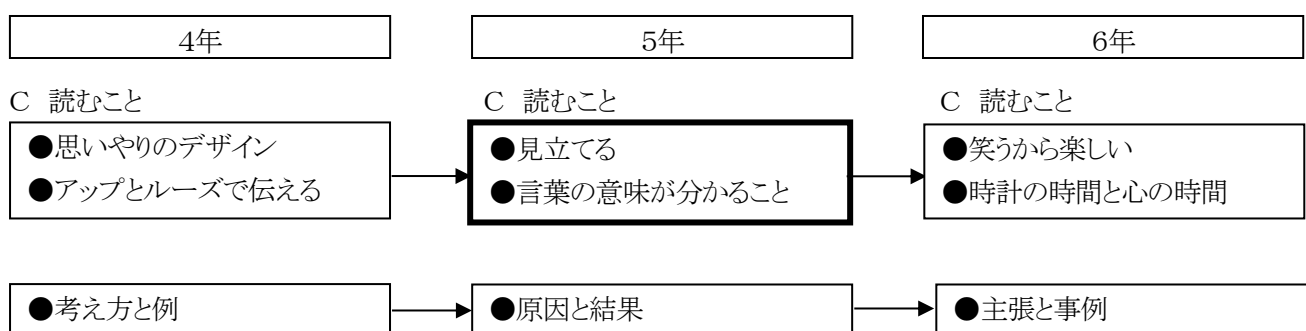
○本単元に関わるレディネステストの結果から

段落の役割を理解して, 文章の内容を的確に読み取るための設問では, 約40%の児童が誤答であった。段落相互の関係を捉えることができず, 文章の内容が十分に理解できていないことが原因として考えられる。また, 中心となる文や語を捉える設問では, 目的に応じて, どの段落に着目すればよいのか, 段落の内容と問われている内容を関連付けて考えることができていなかったことが原因として考えられる。

○「資質・能力」アンケートの結果から

「授業では、情報を比べたり(比較)、仲間分けしたり(分類)、関係を見付けたり(関係付け)して、何が分かるのかを考えています。」という項目で、否定的な回答をした児童が23.1%いた。また、「授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝わるように発表しています。」の項目において、否定的な回答をした児童が31.6%いた。既習事項と関連付けたり、自分の考えを友達と考えと関連付けたりすることができていない児童が多いことから、学習内容を様々な観点から比較、分類、関係付けを行っていくよう指導する必要がある。また、自分の考えをもっている、根拠を挙げられない、不安に思っているなど、表現することに苦手意識をもっている児童が多くいることから、表現をするための話型を選択し、使用するための指導をしていく必要もある。

【本単元の学習の関連と発展】



(4) 指導観

○主体的な学びの中で表現力を高める工夫

- ・総合的な学習の時間で、世羅町が取り組んでいる産業について調べる活動を進めていく中で、資料や見学を通して得た多くの情報の中から、自分達の目的に合った情報を精選していくことと、文章の要旨を捉えていく本単元の学習と関連付けることで、学習への意欲をもたせる。
- ・プレ教材の「見立てる」で、文章構成や各段落の内容、文章の要旨をまとめるために必要な事項を学習する。「見立てる」と同じ方法で「言葉の意味が分かること」の学習を進めていくことで、既習事項と関連付けながら考えられるようにする。
- ・「見立てる」の教材で要旨をまとめるための手順を学習し、整理したポイントを教室内に掲示することで、「言葉の意味が分かること」の学習の際に、手順に沿って読み進めることができるようにする。
- ・要旨に必要な言葉を選ぶ際に、共通している言葉や「終わり」にしかない言葉に着目させるために、「初め」と「終わり」の文章を1枚にまとめたワークシートを配布し、比較し易くさせる。

○児童の課題を克服するための工夫

- 【視覚化】文章中に何度も出てくる言葉を赤で囲み、課題解決に必要な文や言葉を選択するための手掛かりにさせる。また、要旨をまとめる際には、省く言葉を線で消すことで、必要な言葉を選びやすくさせる。
- 【焦点化】文章構成について学習し、「初め」「中」「終わり」それぞれの役割を基に、必要な文章を選択して考えられるようにする。
- 【共有化】グループや集団での対話の場面で「まなボード」を活用し、それぞれの考えを整理させる。発表する際には、資料を比較する際の話型を提示し、説明しやすくする。

2 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標



- 原因と結果などと情報と情報との関係について理解することができる。 (知識・技能)
- 「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。
- 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 (思考・判断・表現)
- 粘り強く文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、学習課題に沿って、筆者の考えに対する自分の考えを發表しようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①原因と結果など情報と情報の関係について理解している。 ②思考に関わる語句の量を増やし、話しや文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	①「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ③「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	①要旨をまとめることの必要性を感じ、いろいろな文章を読もうとしている。 ②粘り強く文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、学習課題に沿って、筆者の考えに対する自分の考えを發表しようとしている。

3 指導と評価の計画

(全8時間)

時	学習活動	児童の反応	評価規準 (評価方法)		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文章の要旨をとらえ、自分の考えを發表しよう					
1	課題の設定 世羅町が取り組んでいる産業について書かれた文章があることを知り、総合的な学習の時間の「元気な世羅を伝えよう」と関連付けて考えることを通して、単元の課題をつかむ。 文章から世羅町の特徴的な取り組みを読み取り、総合的な学習の時間にいかそう。 学習計画を立てる。	 この文章を通して、何を伝えたいのだろう。 この文章に書かれていることは総合的な学習の時間の中で使えそうなことだから、短くまとめて伝えたいな。どうやってまとめよう。			態① (発言・行動観察)
見立てる					
2	情報の収集 整理・分析		知① (ノート分析)	思② (発言・行動観察)	

	「見立てる」を読み、文章構成や筆者の考えの進め方を捉えることができる。	筆者の考えを読み手に伝えるために、「中」で事例を挙げながら説明しているね。 筆者の考えの中には、題名に使われている言葉や繰り返し出てくる言葉(キーワード)が使われているね。			
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">整理・分析</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">まとめ・創造・表現</div> <p>「見立てる」の要旨を捉え、それに対する自分の考えを友達と伝え合うことができる。</p>	 <p>「初め」や「終わり」には、筆者の考えが書かれているね。キーワードや「初め」「終わり」に注目すると、文章の要旨を捉えることができるね。</p>		思②(発言・行動観察)	態②(発言・行動観察)
言葉の意味が分かること					
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">情報の収集</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">整理・分析</div> <p>「言葉の意味が分かること」を通読し、文章を「初め」「中」「終わり」の3つに分けることができる。</p>	 <p>①段落は、話題の提示や筆者の考えが書かれているから「初め」、②～⑩段落は、筆者の考えに対する事例が書かれているから「中」、⑪・⑫段は、筆者の考えが書かれているから「終わり」として分類することができるね。</p>	知②(ノート分析)	思①(発言・行動観察)	
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">整理・分析</div> <p>「言葉の意味が分かること」の各段落の内容を基に、段落相互の関係を捉えることができる。</p>	 <p>各段落は、原因と結果の関係で結び付けられるまとめりとして考えることができるね。</p>	知①(ノート分析)		
6	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">整理・分析</div> <p>筆者の考えの中心を捉え、要旨をまとめることができる。【本時】</p>	 <p>「初め」と「終わり」に書かれている大切な言葉を使うと要旨をまとめることができるね。</p>		思①(発言・ノート分析)	
7	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">まとめ・創造・表現</div> <p>文章の要旨や事例に対する自分の考えをまとめ、伝え合うことができる。</p>	 <p>自分の考えを伝え合うことで、筆者の考えや事例の示し方に対する見方を広げることができるね。</p>		思③(発言・ノート分析)	態②(行動観察・発言)
8	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">振り返り</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">実行</div> <p>学びのまとめ</p>				

4 本時の学習

(1) 本時の目標

筆者の考えの中心を捉え、要旨をまとめることができる。

(2) 準備物

1段落・11段落・12段落の拡大文、まなボード、付箋、ワークシート

(3) 本時の学習展開 ●ねらいーまとめ ○理解を助けたり、関わりを深めたりするための支援
 ◎学びを深めるための発問

学習活動と求める児童の反応	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
1 本時の課題を設定し、解決への見通しをもつ。		
<p>○既習事項の確認をする。</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>● 重要な言葉や文を見つけて、要旨を150字以内でまとめよう。</p> </div> <p>○1段落・11段落・12段落を音読する。</p>	<p>○プレ教材の「見立てる」の学習では、「初め」と「終わり」の文中に筆者の主張が書かれていることや「終わり」にしか書かれていない言葉は、「中」の事例を挙げて、より読み手に主張したい筆者の考えが表れていたことを想起させる。【焦点化】(T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「初め」と「終わり」の文章に着目する。 ・「初め」と「終わり」の文章に共通して書いてある言葉を見つける。 ・「終わり」にしかない言葉を探し、「中」の事例と結びつける。 <p>○1段落、11段落、12段落の文章を並べて提示し、共通している言葉や「終わり」にしかない言葉に着目させる。【視覚化】(T2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「言葉の意味には広がりがある」 ・「ふだん使っている言葉や、ものの見方を見直す」 <p>○「見立てる」の学習を生かして、「言葉の意味がわかること」の要旨を考える学習であることを伝える。【焦点化】</p> <p>○①段落、⑪段落、⑫段落の文章を1枚にまとめたワークシートを配布する。【視覚化】(T2)</p> <p>○「初め」と「終わり」の文章を比較する目的で、1段落・11段落・12段落を音読をさせる。【焦点化】(T1)</p>	
2 課題を解決する。		
<p>○自力解決する。</p>	<p>○1段落、11段落、12段落を読んで、「初め」と「終わり」に共通している言葉には青い線、「終わり」にしかない言葉には赤い線を引き、要旨に使う語句の手掛かりにさせる。【視覚化】</p> <p>○要旨に必要なだと考えた言葉や文を付箋に書き出す。【焦点化】</p>	

<p>○集団解決をする。</p> <p>・「言葉の意味には広がりがある。」という言葉は、「初め」の中にもあった言葉なので、要旨に必要な言葉だと思います。</p> <p>・「言葉の意味を「面」として理解する。」という文は、「終わり」にしか書かれていないから、重要な文だと思います。</p> <p>・「面」という言葉は、「初め」には出てこないし、「終わり」の11段落・12段落どちらにも繰り返し出てくる言葉なので重要な言葉だと思います。</p> <p>・「ふだん使っている物の見方を見なおすことにもつながる。」という文は、「言葉の意味を「面」として考えること」と、強く繋がりががあるので、重要な文だと思います</p> <p>「初め」と「終わり」に共通して書かれている言葉に注目して、大事な言葉を見つけると、要旨を書くことができる。</p>	<p>○重要な言葉や文が見つけれない児童には、タブレットを使って重要語句を提示する。(T2)</p> <p>○自力解決で考えた重要な言葉や文をグループで伝え合い、要旨をまとめるために必要な言葉や文を吟味していく。【共有化】</p> <p>・プレ教材「見立てる」で学習したことを基に、「初め」と「終わり」に共通して書かれている言葉に着目し、根拠を示しながら要旨に必要な言葉話し合う。</p> <p>○話し合ったことを基に、グループの代表が全体に向けて発表する。【共有化】</p> <p>《要旨をまとめるための重要な文》</p> <p>◇言葉を学んで行くときには、言葉の意味を「面」として理解することが大切になる。</p> <p>◇これらの例は、知らず知らずのうちに使い分けている言葉を見直すきっかけとなりました。</p> <p>◇そして、わたしたちが自然だと思っているものの見方が、決して当たり前ではないことにも気付かせてくれます。</p> <p>◎学習したことを基に、要旨を書きましょう。</p> <p>○「初め」「終わり」に共通して示している言葉や事例を踏まえてより詳しく書かれている筆者の考えが表れている言葉を使って、150字以内で要旨をまとめる。【焦点化】</p>	<p>思① 「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 (ノート)</p>
<p>3 本時のまとめをする。</p>		
<p>○今日の学習のまとめを書く。</p> <p>●「終わり」で新たに出てきて、筆者の伝えたいことを短く表している言葉や文を見つければ、要旨にまとめるのに役立つ。</p>	<p>○要旨をまとめるために大切だったことを振り返る。</p> <p>・「初め」と「終わり」の文章を読む。</p> <p>・共通して書かれているキーワードを見つける。</p> <p>・「終わり」にしか書かれていない言葉や文を見つける。</p>	

<p>【要旨の例】 言葉の意味には広がりがあり、適切に使うためには、その意味のはんいを理解する必要がある。つまり、言葉を学ぶときには、言葉の意味を「面」として理解することが大切になる。そのことは、ふだん使っている言葉や、ものの見方を見直すことにつながる。言葉を学ぶとき、「言葉の意味は面である」ことを、考えてみてほしい。</p>		
<p>4 本時の学習を振り返り、次時の学習の確認をする。</p>		
<p>○振り返りを書く。</p>		

(4) 板書計画

